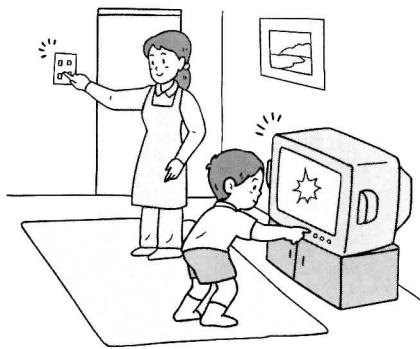


知っていますか「もったいない運動」

ノーベル平和賞を受賞したケニア共和国副環境相のワンガリ・マータイさんが、平成17年2月に来日した際、日本の「もったいない」という言葉を知って感銘を受け、同年3月4日国連本部で開催された会議の講演の中で、日本語の「もったいない」を環境保護の合言葉として紹介しました。

「『もったいない』は、発生抑制(Reduce)、再使用(Reuse)、再生利用(Recycle)、修理(Repair)の『4R』を表している」と説明した上で「もったいない」を参加者と共に唱和しました。以来、世界に向けて「もったいない運動」を提唱しています。



ごみ減量、リサイクルの推進

分別収集の徹底

資源化物の円滑な回収・再利用システムの確立

○分別を徹底し、資源として再利用できるものはごみとして捨てず、ごみの減量に努めます

○一人暮らしの高齢者を支援して、資源ごみ収集を進めます

○再生品の購買・使用に努めるとともに、不用品はリサイクルバザーに出すように努めます

○レジ袋を使わなくて良いように、マイバッグ利用を進めます

○「もったいない運動」を進めます

●廃棄物の発生の抑制及び資源化の促進に関すること

自主的な収集体制の推進
生ごみ処理容器的普及促進
廃棄物の再資源化の促進

○生ごみを堆肥化し、有効利用を図ります

○再資源化しにくいものは、使わないようにします

●エネルギーの使用総量の削減に関すること

省資源、省エネルギー意識啓発

エネルギー等使用量の削減
グリーン購入の促進

○冷暖房の温度設定に気を配り、カーテンや通風を工夫して、電気の使用量を減らします

○省エネタイプの家電製品を選びます

○人のいない部屋・廊下・トイレ・玄関のこまめな消灯を行います

○家庭でもエコマーク・グリーンマーク商品の購入に努めます



●自然エネルギーの有効利用に関すること

太陽光発電等の普及促進
「アクアバレー」つる「構想」の推進

○家庭でも太陽光発電等、自然エネルギーを取り入れるように努めます

◆地球環境

●地球温暖化対策の推進

温室効果ガスの発生抑制

○地球のことを考えて省資源、省エネルギーの生活に努めます

○環境家計簿に挑戦します

環境保全を進める参加と協働の取組

◆協働の推進

●協働のまちづくり

○自治会や体育協会・文化協会をはじめとする各種団体、ボランティアサークルや協働のまちづくり推進会とともに、環境活動を地域で進めます

○地域での自然保護・省エネ・省資源・ごみ減量・まちの美化などの環境保全活動に積極的に参加します

◆環境教育、環境学習の推進

○環境の問題に対して意識を高め、学習をするとともに、自分たちでできることを積極的に行います。

※1 アダプトプログラム・・・

市民の皆さんが道路・公園などの里親になって、ボランティアで美化活動や管理を行う制度。

※2 生物多様性・・・

地球上の生物は、約40億年に及ぶ進化の過程で多様に分化し、生息場所に応じた相互の関係を築きながら、地球の生命体を形づくっています。このような多様な生物の世界を「生物多様性」と言います。生物多様性は、生態系のバランスを維持する上で重要であるばかりでなく、私たち人間の生活にも計り知れない恵みをもたらしてくれます。

※3 グリーン購入・・・

製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入すること。

※4 「アクアバレー」都留構想・・・

「第5次都留市長期総合計画」の目指すべきまちづくりの1つとして河川を利用した小水力発電のまちを位置づけている。

※5 バイオマス・・・

生物を利用して有用物質やエネルギーを得ること。生物資源。